



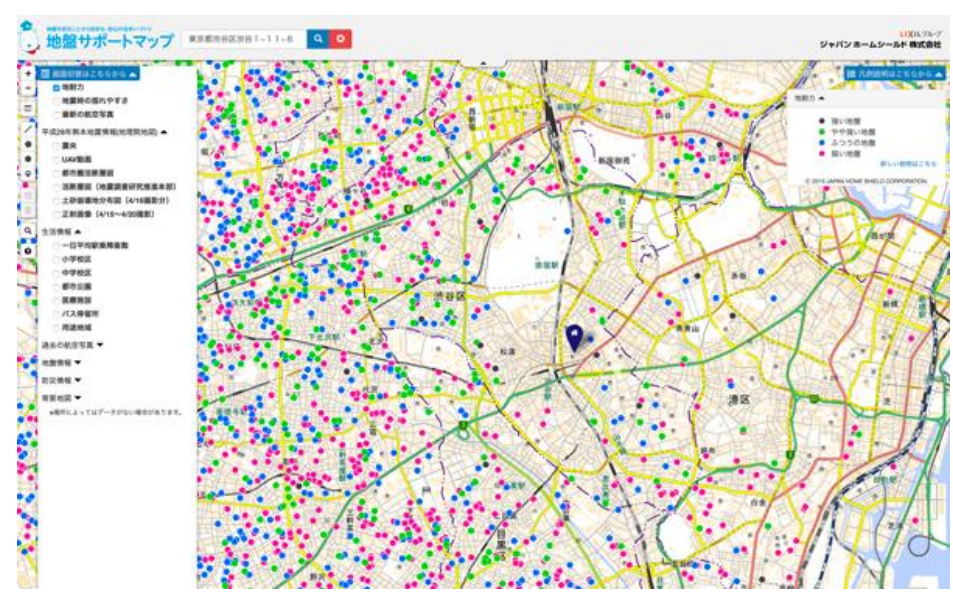
引越し・新築を行う場合は 地盤をチェック！！

【地盤のセルフチェック】
熊本地震から約1年経ちます。ニュースを見ている方も、地震発生後の対応については、阪神淡路大震災の時から、どんどん進歩しています。
しかし、地震発生後の対応がいかに進歩しているとはいえ、地震が起これば被害が少なくない地域に住みたい。というのがみなさんの心の片隅にはあるのではないのでしょうか？
そこで、引越し先は地震に對して強いのか？弱いのか？をセルフチェックしてみよう。

【アプリで地盤をチェック】
地盤調査アプリでオススメのアプリは「じぶんの地盤AR」というアプリです。このアプリはいつでも、どこでも、その場所の地盤の安全性をスコアとリーダーで示します。日本全国の目に見えない地盤に関する安全性と、関連する情報をスコアで把握できる初めての地盤アプリです。
ジバンスコアは、地盤ネット調査に基づく地盤改良比率のほか、公共のデータに基づいた液状化、土砂災害、地震による揺れ、浸水のリスク5項目を各20点満点で評価

- 強い地盤
- やや強い地盤
- 普通の地盤
- 弱い地盤

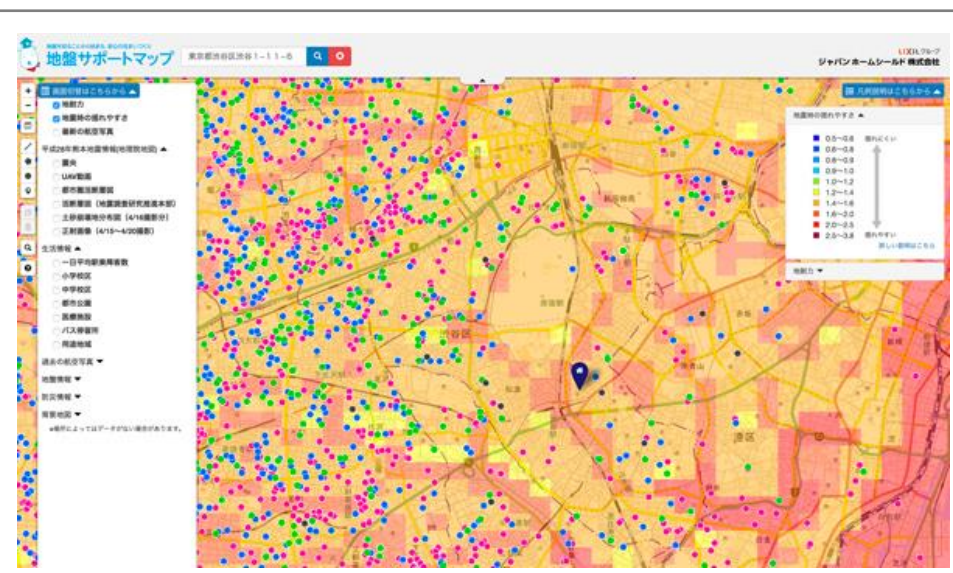
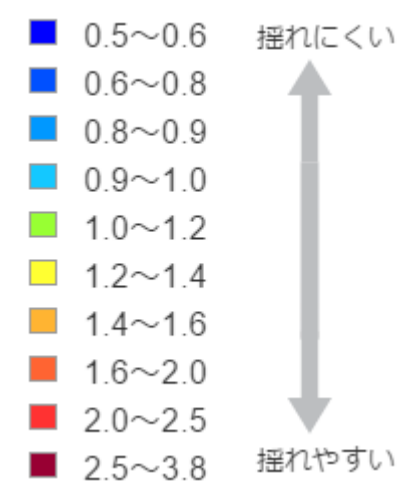
地盤の強さが一目でわかります。広範囲で表示されますので、検討しているエリア全体の地盤の強さが分かります。



し、スコア化されリーダーチャートを用いて最大100点満点で表示します。現在のスコアの他、スマホのカメラと連動し、映像の中で100メートル先、300メートル先のスコアも表示します。今いる場所、どの方向が安全か、リアルタイムで分かります。
地盤改良比率の情報は、地盤ネット株式会社調査、保有するデータをもとに、位置情報と組み合わせることで計算されます。このデータは日々数百件蓄積されて



地震時の揺れやすさ



盛土と埋立地の地盤には要注意！



国土地理院発行の『土地条件図』

【土地条件図で調べてみましょう】
住まいを建てる場所としては、できるだけ台地などの良好な地盤を選ぶのが賢明ですが、なかなかこうした地域では新しい土地が出てきません。新規に取得する場合は、山林の斜面を造成したり、田んぼや低湿地を埋め立てたりして、新たに開発された宅地を選ばざるを得ないのが現実です。このような人工的に手が加えられた地盤は要注意です。特に斜面の造成地では、盛土の地盤に気をつけましょう。地山を削った跡の切土地盤は問題ないですが、盛土のほうは十分に締め固められていないと、敷地が不同沈下して建物が傾いたりねじれたりするおそれがあります。一見すると平坦な高台の造成地でも、谷筋や窪地を埋め戻して平らにした区画が含まれていることがあり得ます。また、埋立地も地震の際に液状化の影響を受ける可能性があります。盛土や埋立地などの地盤の不安定な地域は『土地条件図』で調べられます。土地条件図が作成されていないエリアの場合は、自治体の建築指導課などに問い合わせましょう。



地盤調査・解析実績 100万棟感謝キャンペーン 第4弾

気になる土地を調べてみよう

地盤を知ることから始まる、安心の住まいづくり
地盤サポートマップorU

地盤のリーディングカンパニーが地盤・生活情報をお届け

地盤情報 | 生活情報 | 防災情報

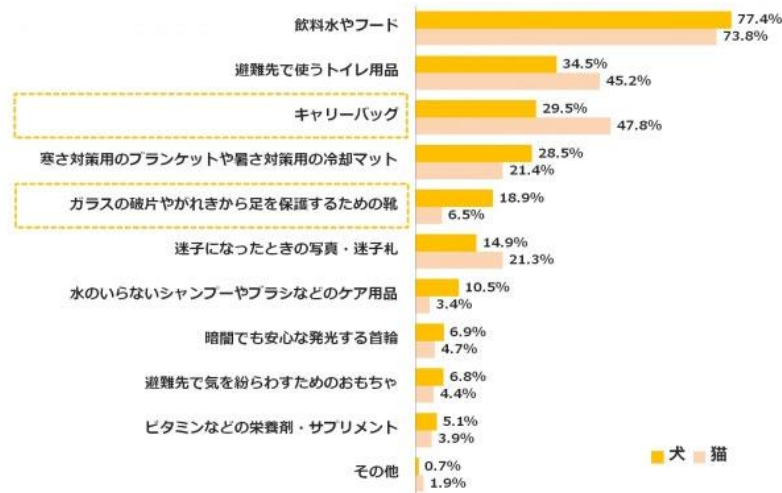
気になる土地の情報を、まとめてダウンロード!!

【地盤調査会社のサービスを活用】
新居の地盤の強さを知るなら、リクシルグループのジャパンホームシールド株式会社が提供する、地盤サポートマップがオススメです。地盤サポートマップは、任意の住所の地盤が強いのか？弱いのか？などを調べる事が出来ます。かなり細かいデータとなっていて、新居の物件がいくつか候補として挙がっているならば、それぞれをチェックして、地盤の強さを選んでみてはいかがでしょうか。オフィシャルサイトの使用は非常に簡単で、アプリやウェブサイトのトップページにある、地盤サポートマップをクリックします。あとは、住所を入力して、送信ボタンを押すだけです。ピンク色が、弱い地盤。緑色や、黒色は強い地盤を表しています。さらに左側にある、地震時の揺れやすさにチェックを入れると、さらにビジュアル化されて、地震に対する地域性がよくわかります。

揃えておきたいペットの防災グッズ

今後揃えたいペットの防災グッズは何ですか

(犬：n=1,212 猫：n=743) ※犬猫両方飼育者は除く



今後そろえたい防災グッズとして挙げられたグッズのうち、犬の飼い主さんと猫の飼い主さんの回答で特に差が見られた項目は『キャリーバッグ』です。

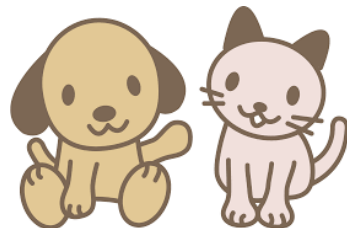
キャリーバッグを持っていない猫の飼い主さんがまだ多いことがわかります。猫はサイズの簡単に抱きかかえられるため、普段はキャリーバックが不要という方も多いかもしれません。

しかし、避難時は他の荷物も多く、両手で抱っこするのは至難の業です。

いざというときのために、キャリーバックを1つ備えておくと安心ですね。

ちなみに、現時点でペットのために備えているもののランキングは左図の通りです。この機会に、ご自身が備えているものと照らしあわせて、足りないものはないかチェックしてみてください。

大地震、津波、洪水といった天災は、いつ起こるかわかりません。いざというときになって後悔しないためにも、できる限りの準備をしておきましょう。



災害時の豆知識～vol.36～

月でも地震は発生する！？

月で地震が発生していることはご存じでしょうか？
ちなみに、月で起きる地震は「月震（げっしん）」と呼ばれています。地球で起きるのが地震です。

これまで記録された月震は「深発月震」「浅発月震」「隕石衝突」「熱月震」「人口月震」の5つに分類されていますが、記録された月震のうち半分以上の7633回は分類されていません。

月震の特徴は、揺れのピークに達するまでの時間が長く、時には数十分かかります。揺れがおさまるまでの時間も長く、数時間も揺れが続くこともあります。

また、最大規模の月震でもエネルギーは地球の最大規模の地震の100万分の1以下で、マグニチュード4程度です。



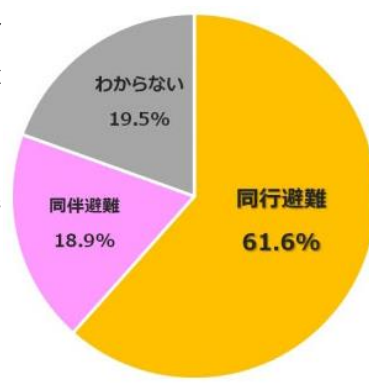
「同行避難」と「同伴避難」の違い



【ペットの防災対策】
地震大国と言われる日本では、いつ大地震や津波、洪水などの大災害が起きてもおかしくありません。ペットを飼っている皆さんは、いざというとき、大切なペットを守るための対策はできているでしょうか？
ペットの防災対策を考える上でぜひ知っておきたいのは「同行避難」と「同伴避難」の違いです。「同行避難」とは、災害時に飼い主がペットを連れて一緒に避難することを指し、避難所でペットと一緒に過ごすかどうかは、各自の判断に任せられています。一方、「同伴避難」とは、「同行避難」とは、一緒に避難し、かつ避難所で過ごすことを指します。もちろん、飼い主さんにとって「同行避難」の方が理想的ですが、環境省が作成している「災害時にペットの救護ガイドライン」で推奨されているのは、「同行避難」の方です。

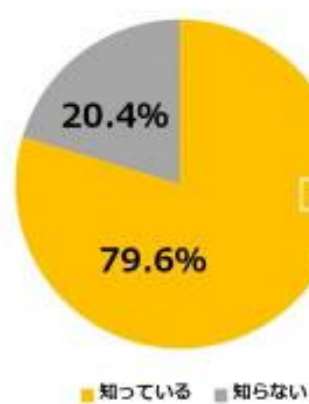
「同行避難」を理解しているのは6割

ペット保険を手掛けるアイペット損害保険株式会社が行った調査でも、『同行避難』について、正しく理解している飼い主さんは、約60%に留まっていることが明らかになりました。



「最寄りの避難所を知っているが、ペットと一緒に過ごすことができるかどうかは把握できていない」と答えた飼い主さんが65%以上

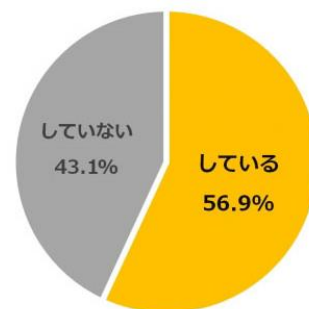
あなたは自宅から最寄りの避難所の場所を知っていますか



あなたは最寄りの避難所がペットを連れて避難できるかどうか知っていますか



ペットのための防災対策をしている飼い主さんは56.9%



では、「ペットの防災対策をしている」と答えた飼い主さんたちは、具体的にどんな対策をしているのでしょうか？
犬の飼い主の皆さんのうち、最も多かった回答は「基本的なしつけ」。確かに避難先で周囲の人に迷惑をかけずに過ごすためには、欠かせないことです。なお、猫の飼い主さんの回答で最も多かったのは「特に対策をしていない」という回答。犬の飼い主さんと猫の飼い主さんとの間のギャップも明らかになりました。

防災新聞

発行者

関西ボロン株式会社

兵庫県丹波市

山南町草部448-1

電話 06-6467-8333

ホームページ

bousai-ansin.com

